



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月9日

上場会社名 WASHハウス株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 6537 URL http://www.wash-house.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 児玉 康孝
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部 経理部長 (氏名) 永澤 秋二 (TEL) (0985)78-4001
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	913	△6.2	△24	—	△11	—	△14	—
2022年12月期第2四半期	974	△5.2	△34	—	8	—	2	—

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 △6百万円(—%) 2022年12月期第2四半期 25百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	△2.15	—
2022年12月期第2四半期	0.32	0.32

(注) 2023年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	4,072	1,783	41.8
2022年12月期	4,282	1,788	40.0

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 1,702百万円 2022年12月期 1,711百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,481	29.1	54	—	53	△12.0	47	303.5	6.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年12月期2Q	6,919,400株	2022年12月期	6,917,400株
2023年12月期2Q	33株	2022年12月期	33株
2023年12月期2Q	6,917,652株	2022年12月期2Q	6,910,852株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結貸借対照表関係)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上における位置付けが5類へ移行したことに加え、各種政策等の効果から、景気に持ち直しの動きが見受けられております。一方、複数の外的要因による、エネルギー資源の価格高騰など、依然として国内外の経済動向は不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、当社コインランドリーの洗剤製造を行う宮崎工場の本格稼働や、必ず待ち時間が発生するというコインランドリーの特徴を活かし、WASHハウスアプリ広告システムによる反応率の高い広告枠を提供するスポンサー広告事業の推進など「プラットフォームとしてのコインランドリー事業」の強化を着実に進めております。また、日本国内の店舗展開として、フランチャイズ（以下、「FC」という）オーナー様や新規出店用地の開発に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間のFC店舗の新規出店数は1店舗となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は913百万円（前年同四半期比6.2%減）となり、営業損失は24百万円（前年同四半期は34百万円の営業損失）、経常損失は11百万円（前年同四半期は8百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は14百万円（前年同四半期は2百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

当社グループはコインランドリー事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメントの情報を省略しております。

コインランドリー事業における主要な部門別の業績は次のとおりであります。

① FC部門

当第2四半期連結累計期間におけるFC店舗数の推移は以下のとおりであります。

新規出店数が1店舗及びリニューアル7店舗を行ったことにより、売上高は81百万円（前年同四半期比54.7%減）となりました。

（単位：店舗）

エリア	2022年12月31日 現在のFC店舗数	期中増減	2023年6月30日 現在のFC店舗数
関東エリア	26	△1	25
中部エリア	11	△1	10
関西エリア	25	(注) △1	24
中国エリア	62	—	62
四国エリア	25	△1	24
九州エリア	404	(注) △6	398
合計	553	△10	543

(注) 当第2四半期連結累計期間において、関西エリアでは1店舗を新規出店しましたが、既存FC店舗のうち1店舗を直営店とし、既存FC店舗のうち1店舗はオーナー様事情により退店となったため、期中増減は1店舗の減少となっております。九州エリアでは、既存FC店舗のうち1店舗を直営店とし、5店舗はオーナー様事情により退店となったため、期中増減は6店舗の減少となっております。

② 店舗運営部門

当社はFC店舗、直営店舗に関わらず、すべての店舗を管理運営しております（全店舗一括管理運営方式）。

FC店舗につきまして、コインランドリー店舗の管理を受託することによる受託管理料はストック収入を構成する要素となっております。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は832百万円（前年同四半期比4.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ209百万円減少の4,072百万円となりました。これは主に、流動資産の棚卸資産が25百万円増加した一方で、流動資産の現金及び預金が162百万円、営業貸付金が30百万円、固定資産のその他有形固定資産が31百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ204百万円減少の2,289百万円となりました。これは主に、固定負債の退職給付に係る負債が1百万円増加した一方で、流動負債の預り金が50百万円、固定負債の長期借入金が43百万円、その他流動負債が47百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5百万円減少の1,783百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失14百万円を計上したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、162百万円減少し934百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、64百万円（前年同四半期は190百万円の支出）となりました。これは主に、減価償却費が77百万円計上された一方で、預り金の減少が50百万円、仕入債務の減少が27百万円、棚卸資産の増加が25百万円、法人税等の支払額が12百万円計上されたこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、49百万円（前年同四半期は28百万円の増加）となりました。これは主に、預り保証金の受入による収入が6百万円計上された一方で、有形固定資産の取得による支出が15百万円、無形固定資産の取得による支出が14百万円計上されたこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、57百万円（前年同四半期は244百万円の増加）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が43百万円計上されたこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期通期の連結業績予想につきましては、2023年2月9日に公表いたしました予想値から変更はございませんが、今後の業況変動を踏まえ、業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

詳細につきましては、2023年8月9日に公表いたしました「2023年12月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,097	934
売掛金	124	124
営業貸付金	969	939
棚卸資産	121	147
その他	189	180
貸倒引当金	△14	△12
流動資産合計	2,488	2,314
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	586	576
土地	236	238
その他（純額）	429	398
有形固定資産合計	1,251	1,212
無形固定資産	132	128
投資その他の資産	409	417
固定資産合計	1,794	1,758
資産合計	4,282	4,072
負債の部		
流動負債		
買掛金	54	26
短期借入金	450	450
1年内返済予定の長期借入金	80	80
未払法人税等	24	13
預り金	406	355
賞与引当金	4	4
その他	226	178
流動負債合計	1,245	1,108
固定負債		
長期借入金	335	291
預り保証金	798	785
退職給付に係る負債	18	19
資産除去債務	38	40
その他	57	44
固定負債合計	1,248	1,181
負債合計	2,494	2,289

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	996	996
資本剰余金	926	926
利益剰余金	△234	△248
自己株式	△0	△0
株主資本合計	1,688	1,673
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	23	29
その他の包括利益累計額合計	23	29
非支配株主持分	76	80
純資産合計	1,788	1,783
負債純資産合計	4,282	4,072

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	974	913
売上原価	628	577
売上総利益	345	336
販売費及び一般管理費	380	360
営業損失(△)	△34	△24
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	0
預り保証金精算益	9	9
固定資産売却益	34	—
助成金収入	—	4
その他	4	4
営業外収益合計	48	19
営業外費用		
支払利息	4	4
その他	1	1
営業外費用合計	5	6
経常利益又は経常損失(△)	8	△11
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	8	△11
法人税、住民税及び事業税	4	3
法人税等調整額	2	0
法人税等合計	6	4
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1	△15
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2	△14

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1	△15
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	23	9
その他の包括利益合計	23	9
四半期包括利益	25	△6
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16	△9
非支配株主に係る四半期包括利益	8	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	8	△11
減価償却費	78	77
預り保証金精算益	△9	△9
固定資産売却損益(△は益)	△34	—
助成金収入	—	△4
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	△2
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	4	4
売上債権の増減額(△は増加)	5	0
営業貸付金の増減額(△は増加)	△6	30
棚卸資産の増減額(△は増加)	△52	△25
仕入債務の増減額(△は減少)	△6	△27
預り金の増減額(△は減少)	△62	△50
その他	△108	△32
小計	△177	△52
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△3	△4
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△8	△12
助成金の受取額	—	4
営業活動によるキャッシュ・フロー	△190	△64
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△28	△15
有形固定資産の売却による収入	59	—
無形固定資産の取得による支出	△4	△14
預り保証金の受入による収入	13	6
預り保証金の返還による支出	△13	△20
その他	1	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	28	△49
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300	—
長期借入金の返済による支出	△43	△43
その他	△12	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	244	△57
現金及び現金同等物に係る換算差額	23	9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	105	△162
現金及び現金同等物の期首残高	932	1,097
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,037	934

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 棚卸資産の内訳

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
商品及び製品	7百万円	29百万円
仕掛品	— "	0 "
原材料及び貯蔵品	114 "	117 "

※2 当座貸越

当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行4行と当座貸越契約を締結しております。これらの契約に基づく借入未実行残高等は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
当座貸越限度額	650百万円	650百万円
借入実行残高	450 "	450 "
差引額	200 "	200 "

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
役員報酬	72百万円	72百万円
給料及び手当	97 "	79 "

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

当社グループはコインランドリー事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

当社グループはコインランドリー事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。